

令和5年10月25日

西部農林水産振興センター益田農業部

標 題	地域の枠を超えたつながりを作ろう！ 県西部のぶどう生産者・関係機関による産地交流会
-----	--

(ダイジェスト)

「共に励まし合い、高め合う仲間づくりを行うこと」と「幅広い視点を持って農業経営や産地振興に臨める人材を育成すること」を目的に、県西部のぶどう生産者・関係機関を対象とした産地交流会を開催しました。生産者同士が地域の枠を超えて意見交換できる貴重な機会となり、参加者からもとても好評で、今後につながる取組みとなりました。

益田管内では、UI ターンによるぶどう就農者が増加していますが、その一方で、新規就農者の産地に対する意識や、地域内外の生産者とのつながりが弱くなりつつあります。そのため農業部では、西いわみぶどう部会と連携し、①共に励まし合い、高め合う仲間づくりを行う、②地域内外のぶどう生産の実情・課題を知ることで、幅広い視点を持って自身の農業経営に臨める農業者になってもらう、③長期的な視点で人材を育成していく、ことを目指して県西部のぶどう生産者・関係機関による交流会を企画・開催しました。

交流会では、JA 島根おおち地区本部、JA 石見銀山地区本部の担当者や農業部職員から、リースハウス事業や地区本部独自販売の取組みについて事例報告をしていただきました。また、これまで産地を担ってきたベテラン農業者2名と、数年前に就農した中堅農業者2名から「これまでの農業経営を踏まえて、新規就農者に伝えたいこと」をテーマに事例発表をしていただきました。

参加者からは、各地域の取組みや先輩農業者のぶどう栽培及び産地にかける熱い想いに対して活発な質問があり、学びの多い時間となりました。

また、継続的に開催してもらいたいとの要望があるなど、今後につながる取組みとなりました。

農業部としては、今後も部会と連携しながら活動を継続・強化し、新規就農者の定着・経営確立支援と次代の産地を担う幅広い視点を持った農業者の育成に取り組めます。



